

令和8年度主要事業一覧表（こども若者施策に関する重点事業抜粋）

資料4

事業名	事業概要	事業区分	予算額 (千円)	債務負担行為 (千円)	担当課
市長重点事業					
1.未来を描く ～ 地域経済の自立 ～					
a	中小企業者人材確保支援事業	市内企業と連携した奨学金返還支援により、若年層の経済的負担を軽減するとともに、生活基盤の安定や短期離職の抑制を図り、市内企業への若者の就労を促進し、あわせて優秀な人材の確保につなげる		360	商工振興課
b	若者就農支援事業	農業に関心のある若者が就農する機会を増やすため、農業経営体に対して支援		10,000	農政課
c	保育者確保！「保育者就労支援」事業	資格を持っているが保育士として働いていない潜在保育士を、就労につなげることで保育士不足の解消を図る		2,609	幼児課
d	保育士確保！「保育士修学・居住支援」事業	保育人材を確保することで待機児童を解消するとともに、よりよい保育を提供し、保育人材の労働環境の改善及び人材の定着を図る	拡充	10,965	幼児課
2.未来を育てる ～ 次世代への投資 ～					
e	(こども若者＋大人)×長浜力カワリ創出プロジェクト	こども若者の意見やアイデアを常集める仕組みをつくり、その中からいくつかのプロジェクトを実際に実施する施策に取り入れ、こども若者が地域や地元企業、関係人口と関わる機会を創出		11,304	未来こども若者課
f	NAGAHAMA 恋結びフェス	人口減少対策を推進するため、結婚を希望する若者が安心して出会いの機会を得られる環境を整備するとともに、結婚を契機とした住まいや働き方に関する支援につなげて、将来も長浜に住み続けたいとする持続可能な地域づくりをめざす	新規	4,000	未来こども若者課
g	移住促進プロモーション事業	子育て支援、住宅施策、雇用支援など、多岐にわたる取組について、移住・定住に関心を持つ若者や子育て世帯を主なターゲットとして、戦略的に情報発信を行うことで、転出の抑制と転入の促進を図り、若年層の人口減対策としての政策効果の最大化をめざす	新規	2,750	未来こども若者課
h	なかなか、いい暮らし応援補助金	子育て世帯及び若者夫婦世帯の住宅取得を支援することで、本市への子育て世帯及び若者夫婦世帯の定住を促進し、若者人口の転出超過の改善を図る	拡充		100,000 住宅課
i	こども・子育てInstagram広告事業	妊娠期から出産期～乳幼児期～学生期に至るまでの子育てに関する様々なサービス等の情報をターゲット層に対して周知	新規	396	こども家庭支援課
j	こどもの居場所づくり促進事業	児童虐待のリスクの高まりを踏まえ、子育て世帯が孤立しないよう支援するため、支援ニーズの高い子ども等を見守り、必要な支援につなげる体制の強化を推進し、子どもの居場所づくりを促進		14,050	こども家庭支援課
k	養育費確保支援事業	子どもの健やかな成長に必要な養育費を確保するため、養育費の取り決めに要する公正証書の作成や家庭裁判所への申し立てにかかる費用、弁護士への相談料を助成		621	こども家庭支援課
l	こどもの100か月育ちサポート事業 (妊娠・出産包括化支援事業)	すべての子どもが健やかに育つ社会の実現をめざすため、地域における妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援等を推進		39,172	健康推進課
m	「スポーツのまちNAGAHAMA」推進プロジェクト	国スポ・障スポ開催競技を中心にこれまで取り組んできた競技普及事業や、園訪問・園児の競技体験や部活動指導、大会開催のレガシーとして記念大会の開催など、開催後も継続した事業実施により、市民のスポーツへの興味関心を高め、子どもの体力向上やスポーツに取り組みやすい環境づくりに取り組む	拡充	4,069	文化スポーツ課
n	地域と学校の連携と協働による「生きる力」育成事業	学校（学校教育）と地域（社会教育）が一体となって、多様な主体が連携・協働しながら地域全体で子どもの「生きる力」を育む体制づくりを推進するため、地域学校協働本部を導入し、地域と学校の連携協働体制を構築する実証事業を行う		1,289	生涯学習課 教育指導課
o	「長浜学びの多様化学校」事業	増加傾向である不登校児童生徒への対策として、学習機会を保障し、誰一人取り残さない長浜の教育の実現を推進するため、新たな学びの場として「学びの多様化学校」を設置	新規	3,723	教育指導課
p	科学の子「長浜学びの実験室」事業	本市教育振興基本計画に基づき、「体験等を通して学びに向かう力の育成」及び「市内大学と連携した専門的分野の人材育成の推進」を図る	拡充	1,932	教育指導課
q	学力向上事業	学力向上を目的として、各校の学力向上に対する課題に対して重点的及び効果的に対応するため、学力向上支援員を配置		16,727	教育指導課
r	部活動の地域連携・地域展開事業	部活動地域連携・地域展開により、学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動を保障する。また、心身の健全な発達を促すため、学校体育、運動部及び文化部活動への支援の充実により、児童生徒が生涯にわたってスポーツ等に親しむ習慣や意欲、能力を育むとともに、体力の向上及び運動能力の向上を図る	拡充	12,498	教育指導課
3.未来を守る ～ 持続可能な基盤 ～					
s	自治体クラウドファンディング推進事業	地域の魅力を高めて活力を維持するため、社会情勢の変化に伴う新たな課題への対応や新たな価値の創造に向けて、安定的に挑戦できる土壌を醸成することで、持続的で個性的なまちづくりを推進する基盤を構築	拡充	470	未来こども若者課

令和8年度重点事業一覧（こども若者施策抜粋）

【市長重点事業 1. 未来を描く ～地域経済の自立～】

事業名	中小企業者人材確保支援事業		
目的と効果	人口減少や若者の市外への転出を背景に、市内企業においては人材確保が経営上の大きな課題となっています。企業と市が連携して若者の奨学金返還にかかる支援を行うことで、優秀な若者の市内での就労を促し、市内企業における雇用の安定と持続可能な地域経済の成長・発展につなげます。		
内容	市内の中小企業が、新たに採用する34歳以下の従業員に対して奨学金の返還支援を行う場合、企業が負担する費用の一部を助成します。 ○補助額 従業員1人あたり年額10万円まで（25歳以下は1人あたり15万円まで） ○補助上限 1社あたり30万円 ○補助率 2分の1		
予算	360千円	担当課	商工振興課



事業名	若者就農支援事業		
目的と効果	農業に関心のある若者が就農しやすい環境整備を支援することにより、若者が主役の農業スタイルを提案・発信し、若者の就農促進を図ります。 これにより、地域で生産される農産物の多様化が図れ、スマート農業機械の効率的な活用により地域農業の魅力を高められます。		
内容	○園芸栽培拡大促進支援事業 野菜や果樹など地域の農産物の多様性や生産拡大、魅力の向上を図ることにより、若者の関心を高めるとともに雇用就農の機会拡大を支援します。 ・補助率：2分の1 ・上限額：ビニールパイプハウス 200万円 機械・設備のみの導入 150万円 ○スマート農業活用促進支援事業 若者の関与が期待されるとともに、作業の軽労化や生産性の向上が図れることから経験値を求められないスマート農業技術の整備を支援します。 ・対象者：令和8年4月1日以降に満39歳以下の者と常時雇用契約をする経営体 ・対象事業：ロボット技術やICT等の先端技術を活用し、軽労化や品質・収量向上につながる機械・設備導入 ・補助率：2分の1 ・上限額：150万円		
予算	10,000千円	担当課	農政課



令和8年度重点事業一覧（こども若者施策抜粋）

事業名		保育者確保！「保育者就労支援」事業	
目的と効果	資格を持っているが保育士として働いていない潜在保育士や、保育の仕事に興味を持つ人を保育補助として就労につなげる等、保育人材を確保します。 また、中高生などこれから進路を選択する若者に向けて、園でのボランティア事業を実施し、保育現場の魅力発信を行い、将来の保育人材の確保につなげます。 保育人材を確保することで、待機児童を解消するとともにより良い保育を提供し、保育人材の労働環境の改善と人材の定着を図ります。		
内容	①マッチング支援／保育現場に見学に行こう！ 対象者：保育の仕事に興味がある方 事業概要：2～3人程度で、興味がある園への見学をアテンドし、現場見学や園で働く人との交流の時間を持ち、人材バンクへの登録や就労につなげます。 ②保育体験事業の開催／保育の仕事ってどんな仕事？ 対象者：中学生・高校生 事業概要：保育の仕事に興味のある中高生を対象に保育の仕事体験事業（ボランティア体験事業）を実施します。保育の仕事について知ってもらうことで、将来の職業選択につなげます。 ③魅力発信／保育の魅力発信フェスタ 対象者：保育の仕事に興味がある方 事業概要：就労支援イベント等にブースを出展し、保育の魅力や各園の特徴等を発信するとともに、ミニセミナーや現役保育士によるゲストトークなどを実施し、人材バンクへの登録や現場見学、就労につなげます。		
予算	2,609千円	担当課	幼児課

事業名		保育士確保！「保育士修学・居住支援」事業	
目的と効果	保育人材を確保することで、待機児童を解消するとともに、よりよい保育を提供し、保育人材の労働環境の改善及び人材の定着を図ります。		
内容	①保育士等奨学金返還支援金 修学のために奨学金制度を利用し、市内の幼稚園・保育所・認定こども園に勤務する保育士等に対し、奨学金の貸与月数等に応じて支援金を交付します。 ・貸与月数に応じ3年間で交付 上限96万円 ②保育士修学支援金 将来長浜市内に居住し、市内の幼稚園・保育所・認定こども園で保育人材として従事する意思のある人に対して、修学資金を貸し付けることにより支援を行います。 ・年間上限100万円、通算200万円を上限として無利子で貸付 ③保育士等居住支援事業補助金 市外から転入し、市内の幼稚園・保育所・認定こども園で働く保育士等の居住支援として、家賃・宿舍借上費用を補助します（公立園に勤務の場合は個人に交付、民間園に勤務の場合は法人に交付します）。 ・月当たり家賃の4分の3を補助 上限42,000円		
予算	10,965千円	担当課	幼児課

令和8年度重点事業一覧（こども若者施策抜粋）

【市長重点事業 2. 未来を育てる ～次世代への投資～】

事業名		(こども若者+大人) ×長浜力カワリ創出プロジェクト	
目的と効果	こども若者が安心できる雰囲気の中で、意見やアイデアを集める仕組みをつくり、その中からいくつかのプロジェクトを実際に実施する施策に取り入れ、彼らが地域や地元企業、関係人口と関わる機会を創出します。これらの取組を通じて彼らが「挑戦したい」「やってみたい」という思いを応援する機運を高め、地域魅力の再発見や郷土愛を育みながら自己肯定感の向上につなげます。		
内容	○若者のサードプレイス「itteki」の運営 若者が安心してやりたいことに挑戦できるサードプレイスを運営します。 ○こども若者ボイス こども若者の意見やアイデアを聞き、施策やプロジェクトに反映します。 ○こども若者×関係人口（リレーションズ）レクチャープログラム 関係人口による若者のスタートアップ体験を支援します。 ○地域（こども若者×大人）×関係人口（大学生）交流プログラム 大学生による地域のフィールドワーク活動を支援します。 ○こども若者×地域企業キャリア創造プログラム 市内高校の探究学習に地域や地元企業と関わるプログラムを導入します。		
予算	11,304千円	担当課	未来こども若者課

事業名		NAGAHAMA 恋結びフェス	
目的と効果	人口減少対策を推進するため、結婚を希望する若者が安心して出会いの機会を得られる環境を整備するとともに、結婚を契機とした住まいや働き方に関する支援につなげて、将来も長浜に住み続けたいとする持続可能な地域づくりをめざします。		
内容	○出会いの場創出に関するイベントの企画・実施 婚活コーディネーターによる結婚や婚活に一步踏み出すためのレクチャーや、様々なコンテンツによる特別な体験を通じて、参加者一人ひとりがワクワクする未来を描ける機会を創出します。		
	○地域全体での応援体制の構築 地域を巻き込んだ協力体制や近隣自治体との連携を図ります。		
	○イベント後のアフターフォローとしての情報提供等 イベント参加者への定期的な情報配信や、参加者アンケートの分析による検証を行います。		
予算	4,000千円	担当課	未来こども若者課





令和8年度重点事業一覧（こども若者施策抜粋）

事業名		移住促進プロモーション事業	
目的と効果	子育て支援、住宅施策、雇用支援など、多岐にわたる取組について、移住・定住に関心を持つ若者や子育て世帯を主なターゲットとして、戦略的に情報発信を行うことで、転出抑制と転入促進を図り、若年層の人口減対策としての政策効果の最大化をめざします。		
内容	令和8年1月にオープンした長浜市公式 移住・暮らし応援サイト「なかなか長浜」のアクセス増加に向けて、PDCAサイクルに基づく戦略的な情報発信と効果検証を行います。 ○ターゲット設定と発信内容の整理 サイトへのアクセス状況を分析し、ターゲットとする若者・子育て世帯の求める情報の整理を行います。 ○広報物の制作・配信によるプロモーションの実施 サイトへ誘導するための求められる情報を動画等で制作し、SNSで定期的な配信を行います。		
予算	2,750千円	担当課	未来こども若者課

事業名		なかなか、いい暮らし応援補助金	
目的と効果	長浜での暮らしを選択する若者を増やすために、子育て世帯や若者夫婦世帯による新築住宅の取得や、中古住宅等のリフォームに対し、長浜市独自の補助金により支援することで、本市における子育て世帯や若者夫婦世帯の定住を促進し、若者人口の転出超過の改善を図ります。 また、空き家の活用や老朽化した住宅の建替えに対して補助金額の加算を設けることで、将来、空き家となり得る住宅の発生に対する未然防止を図ることや、住宅用地の取得に対する補助金額の加算を設けることで、本市への移住・定住の促進を図ります。さらに、本事業は「移住促進プロモーション事業」と連携し戦略的に情報発信することで、政策効果を最大化させます。		
内容	子育て世帯及び若者夫婦世帯による新築住宅の取得や中古住宅・実家等のリフォームに係る経費の一部に対し、最大150万円を上限とする補助を行います（市内事業者が行う新築・リフォームに限る）。 基本額：30万円 ・新築支援事業 加算額30万円（子育て世帯、市外からの転入世帯、住宅用地の取得、建替え） ・リフォーム支援事業 加算額30万円（子育て世帯、市外からの転入世帯、住宅用地の取得、空き家活用）		
予算	100,000千円 ※令和8年度から令和9年度までの債務負担行為	担当課	住宅課

令和8年度重点事業一覧（こども若者施策抜粋）

事業名	こども・子育てInstagram広告事業		
目的と効果	子育て支援情報を積極的に発信し、育児中の親等が子育て支援に関する情報を取得しやすい環境を整え、笑顔で子育てできるまちづくりを推進します。 Instagramを活用して情報を発信することで、必要な子育て支援情報が若い世代を中心により多くの人に届けられ、支援を受ける機会が広がることで、親たちの育児に対する負担軽減と安心感の向上につながります。		
内容	配信目的や配信対象を設定できる広告媒体であるInstagram広告のデザイン作成や配信等を外部委託し、画像や動画等を用いた情報発信によりターゲット層へ情報を届け、子育て支援に関する情報提供の充実を図ります。また、子育て関連事業の求人情報の周知にも活用できます。 【ターゲット層】 ・Instagramを利用した情報収集を行う20～40代の子育て世帯 ・保育施設等を利用していない子育て世帯（いわゆる「自宅保育層」）等 		
予算	396千円	担当課	こども家庭支援課

事業名	こどもの居場所づくり促進事業		
目的と効果	児童虐待のリスクが高まっている状況を踏まえ、子育て世帯の孤立を防ぐために、支援ニーズの高いこども等の見守りを強化し、必要な支援につなげる体制の整備を推進します。 こどもの居場所づくりを引き続き促進することにより、様々な課題を抱える子育て家庭の孤立を防ぎ、不安や負担を軽減することで、虐待防止に寄与するとともに、こどもの健やかな成長につながります。		
内容	①子育て世帯訪問支援事業・子育て短期支援事業 家事や子育て等に対して不安や負担を抱える家庭等に、支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事及び育児支援等により安定した児童の養育ができる環境を整えます。また、一時的に家庭での子育てが難しい場合にこどもを預かれるよう事業の充実を図ります。 ②支援対象児童等見守り強化事業 養育に心配がありながら、自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭等の児童に対し、こどもの居場所の提供や訪問による食事の提供・学習支援等を実施することにより、生活習慣や学習習慣の定着が図れるよう努めます。		
予算	14,050千円	担当課	こども家庭支援課

令和8年度重点事業一覧（こども若者施策抜粋）

事業名	養育費確保支援事業		
目的と効果	ひとり親家庭等のこどもの成長に必要な養育費を確保するため、公正証書等作成費用補助事業の継続実施や相談体制を充実することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と児童福祉の増進を図ります。 養育費の確保を支援することにより、こどもの健やかな成長につながり、ひとり親家庭等の不安の解消や自立の促進が期待できます。		
内容	①養育費の取決めにに関する公正証書の作成や、家庭裁判所への調停申し立て等にかかる費用を助成します。 ②ひとり親等の相談窓口の拡充のため、弁護士等による無料個別相談会を開催します。 ③法律相談が必要なひとり親等に対し、弁護士費用の補助を行います。 ④母子・父子自立支援員を設置し、ひとり親等に寄り添った相談を行います。 		
予算	621千円	担当課	こども家庭支援課

事業名	こどもの100か月育ちサポート事業（妊娠・出産包括化支援事業）		
目的と効果	妊娠期から小学校1年生まで（生まれる約10か月前から100か月）の間、こどもの健やかな育ちと、保護者・養育者が安心して子育てできる環境づくりを支えます。また、妊娠期から子育て期まで、きめ細やかで切れ目のない支援を推進します。		
内容	①産前産後サポート業務（ハッピー子育て事業） 「ハッピー子育てチケット」（1枚1,000円）を2枚交付します。 ②産後ケア事業 初回無料券を1枚交付し、利用料の1～5回目を減免します。 ③産婦健康診査事業 産後2週間及び産後1か月の健診費用を助成します（5,000円/回）。 ④1か月児健康診査事業 医療機関で、発育状況の確認や異常の早期発見、育児に関する相談等を行います。 ⑤初回産科受診料支援事業 住民税非課税世帯等（同程度の所得水準を含む）の妊婦を対象に、初回の産科受診料を補助します（上限10,000円/回）。 ⑥多胎妊婦に対する健康診査支援事業・多胎児家庭サポート事業 多胎妊婦に基本健診3回と超音波検査2回を追加で助成します。 ⑦5歳児健康診査事業 心身の発達状況を確認し、必要な支援につなげて就学前の支援を充実させます。		
予算	39,172千円	担当課	健康推進課

令和8年度重点事業一覧（こども若者施策抜粋）

事業名	「スポーツのまちNAGAHAMA」推進プロジェクト		
目的と効果	国スポ・障スポ大会開催競技を軸とした普及事業や、園訪問による競技体験、部活動指導等の取組を継続するとともに、大会レガシーを継承する記念大会を開催します。併せて、市内スポーツ施設の有効活用による全国規模の大会や合宿の誘致を強化しスポーツツーリズムを進めるとともに、市民の興味関心を高め、こどもの体力向上及びスポーツに親しみやすい環境整備を推進します。		
内容	○全国規模の大会やスポーツ合宿誘致 地域資源を活用した国内外からの大会・合宿の誘致及び受入支援を行い、来訪チームと地元競技団体・市民とのスポーツを通じた交流を図ります。 ○スポーツを通じて若者の夢や挑戦を応援 オリンピックによるスポーツ教室やスポーツイベントなどの競技体験、トップアスリートによる部活動指導を行います。		
予算	4,069千円	担当課	文化スポーツ課

事業名	地域と学校の連携と協働による「生きる力」育成事業		
目的と効果	こどもたちの地域での学びを通した「生きる力」を育成するため、地域住民や保護者、地元団体など多様な主体と学校のさらなる連携・協働の仕組みと体制づくりをめざします。 こどもたちは、地域の人との交流や体験活動を通して多様な経験を積み、自ら考え行動する力を身につけるとともに、地域とのつながりを深めることで地域への愛着や誇りを育み、地域の将来を担う人材の育成につながることが期待できます。 また、地域住民にとっても、自らの経験や知識を生かす機会が広がり、世代を超えた交流を通して、地域のつながりが深まることが期待できます。		
内容	モデル地域を設定し、地域と学校の連携・協働の仕組みと体制づくりを進めます。 ○つなぐ人の配置 地域と学校をつなぎ、コーディネートを行う人材を配置します。 ○学びの場づくり 「子ども学び座」などを活用し、学校と連携した学びを展開します。 ○地域ぐるみの取組 幅広い地域住民や団体の参画を得ながら、地域と学校が連携・協働して多様な活動を行います。		
予算	1,289千円	担当課	生涯学習課・教育指導課

令和8年度重点事業一覧（こども若者施策抜粋）

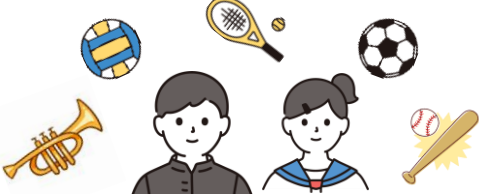
事業名		「長浜学びの多様化学校」事業	
目的と効果	増加傾向である不登校児童生徒への対策として、学習機会を保障し、誰一人取り残さない長浜の教育の実現を推進するため、新たな学びの場として「学びの多様化学校」を設置します。 不登校生徒に応じたゆとりあるカリキュラム編成を行えるため、学校に行きづらさを感じている生徒も、それぞれの状況に合わせた無理のない通学が可能です。 生徒が社会とつながる場や機会（外へ出て行く学習等）は、社会とつながり自信をつけるチャンスになります。また学校へ通えることで、進路の選択の幅が広がります。		
内容	「学びの多様化学校」は特別な教育課程の編成が行えるため、始業時間等にゆとりを持たせたり、個に応じたカリキュラムを編成したりすることが可能です。 特色①：自分らしさを大切にした学校生活 定員は、各学年5名程度の少人数で、個別の理解度やペースに合わせた学習ができます。 特色②：探究ラボ、アクティブラボ 長浜市の自然や伝統文化について、自分の興味関心に基づき、教科の枠を超えて、探求的に学びます。 特色③：未来設計サポート 個々の悩みや希望に寄り添い、前向きに将来について考えられるよう支援します。		
予算	3,723千円	担当課	教育指導課

事業名		科学の子「長浜学びの実験室」事業	
目的と効果	豊かな体験活動を通して、小中学生の理系分野への興味・関心や探求心・問題解決能力を高め、こどもの真の学力（認知能力及び非認知能力）の向上を図ります。 こどもたちの科学技術への興味関心を高め、将来の社会を担う理系人材のすそ野を広げることで、理系人材育成を支援します。 児童生徒が安全に実験・観察ができる体制を整えます。		
内容	①「長浜学びの実験室」長浜バイオ大学 小中学生を対象に、長浜バイオ大学内「長浜学びの実験室」において、大学教員指導のもと、高度な実験観察などの体験的学習講座を授業の一環として実施します。 ②「長浜学びの実験室」ヤンマーミュージアム 小学生を対象に、ヤンマーミュージアム内において、外部指導員による様々な体験活動（ものづくり体験や館内体験）を行います。 		
予算	1,932千円	担当課	教育指導課



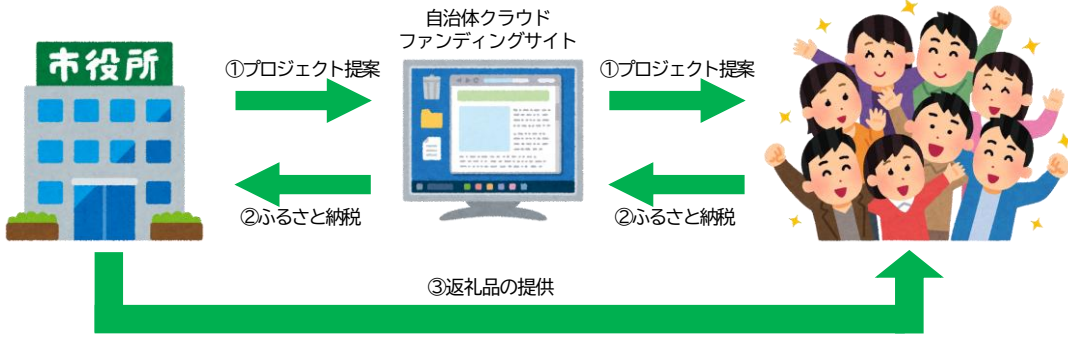
令和8年度重点事業一覧（こども若者施策抜粋）

事業名	学力向上事業		
目的と効果	小学校及び義務教育学校（前期課程）において、児童への指導環境の整備に重点的・効果的に取り組むことにより、長浜市のめざす「真の学力」向上を図ります。 「学力向上支援員」を配置することによって、小学校及び義務教育学校（前期課程）の低学年児童が落ち着いて学校生活を送ることができるようになります。また、各校の学力向上策を力強く推進することにより、長浜のめざす「真の学力」（認知能力と非認知能力）の向上を図ることができます。		
内容	小学校及び義務教育学校（前期課程）児童の学力向上を図るため、会計年度任用職員「学力向上支援員」を配置します（13校27名）。 低学年児童に対して学校生活の安定を図るための支援や、全学年の主に国語科や算数科における学習支援を行います。  		
予算	16,727千円	担当課	教育指導課

事業名	部活動の地域連携・地域展開事業		
目的と効果	部活動の地域連携・地域展開により、学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を学校の枠をこえて地域全体で連携し、支える仕組みをつくり、生徒のニーズに対応した多様な活動を体験できる機会と、将来に渡り活動を継続的に取り組むことができる環境整備を進めます。		
内容	①部活動の地域展開に向けた取組 コーディネーターを配置し、学校や地域の競技・文化団体、クラブへの聞き取りや働きかけ、実証活動を行うことで、市が公認する地域クラブの設置をはじめ、生徒の多様な活動の受け皿となる地域団体・クラブと、その指導者を確保します。 ②部活動地域展開推進計画の策定 各地域における生徒のニーズ、部活動や地域クラブ等の活動実態を把握したうえで、部活動の地域展開の方針を示す推進計画を策定し、今後の具体的な取組、スケジュール等について分かりやすく市民の皆さんに周知します。 		
予算	12,498千円	担当課	教育指導課

令和8年度重点事業一覧（こども若者施策抜粋）

【市長重点事業 3. 未来を守る ～持続可能な基盤～】

事業名	自治体クラウドファンディング推進事業		
目的と効果	地域の魅力を高めて活力を維持するため、社会情勢の変化に伴う新たな課題への対応や新たな価値創造に向けて、自治体クラウドファンディングを導入し、安定的に挑戦できる土壌を醸成することで、持続的で個性的なまちづくりを推進する基盤を構築します。これにより、本市の個性を活かしたプロジェクトへの寄附を通じて、長浜ファンや関係人口の獲得拡大を図ります。		
内容	○自治体クラウドファンディングの導入 地域課題の解決やまちづくりに関する市のプロジェクトについて、ふるさと寄附制度を活用した自治体主体のクラウドファンディングを導入し、全国の長浜ファンや関係人口から寄附を募ります。また、ふるさと納税を通じて寄附をしていただいた方に、長浜市の特産品を返礼品として提供します。 ＜自治体クラウドファンディングの仕組み＞ 		
予算	470千円	担当課	未来こども若者課